

# トヨーコーケン 山梨事業所に太陽光発電設備を導入

PPAモデル『DayZpower』を採用しCO<sub>2</sub>排出量を年間 約64トン削減

トヨーコーケン株式会社は、CO<sub>2</sub>排出量削減の一環として、再生可能エネルギーの活用を推進するため、2024年4月までに、山梨事業所(山梨県南アルプス市宮沢301)に、コーポレートPPAによる太陽光発電設備を導入・運用開始する予定です。

導入する発電設備の能力は153kW、年間の発電量は約15万kWhを想定し、年間で約64トンのCO<sub>2</sub>を削減できる見込みです。

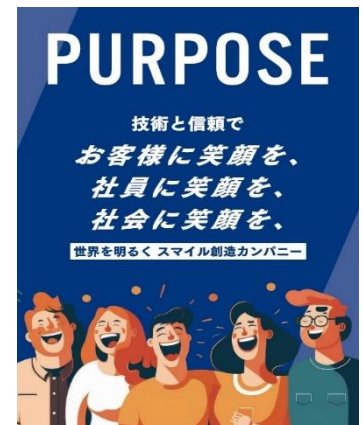


PPAモデルとは、“Power Purchase Agreement(電力販売契約)モデル”の略称で、電気を利用者に売る電力事業者(PPA事業者)が事業者の敷地内に太陽光発電設備を無償で設置し、発電した電力を事業者が購入する事業モデルです。

今回導入するPPAモデルは、株式会社山善と、大阪ガス株式会社の100%子会社Daigas エナジー株式会社がPPA事業者となり、両社が業務提携したPPAモデル事業のブランド「DayZpower(デイズパワー)」を採用し、そこで発電された太陽光由来の再生可能エネルギー100%の電気(再エネ電気)を約20年間にわたりトヨーコーケンが購入・活用するというものです。

発電設備能力	153kW
発電量(年間)	約15万kWh
CO <sub>2</sub> 削減量(年間)	約64t - CO <sub>2</sub>

トヨーコーケン株式会社で掲げているパーパスにもある通り「世界を明るくスマイル創造カンパニー」として、再生可能エネルギーを活用したCO<sub>2</sub>削減の取り組みをより一層強化することで、SDGsの達成に貢献するとともに、持続可能な社会の実現を目指してまいります。



以上

お問い合わせ先  
トヨーコーケン株式会社 経営管理部 担当 小澤  
電話 055-282-5581  
E-mail: y-ozawa@toyokoken.co.jp